

# あいちICTアクションプラン2015 年次レポート（2014年度版）

2014年8月



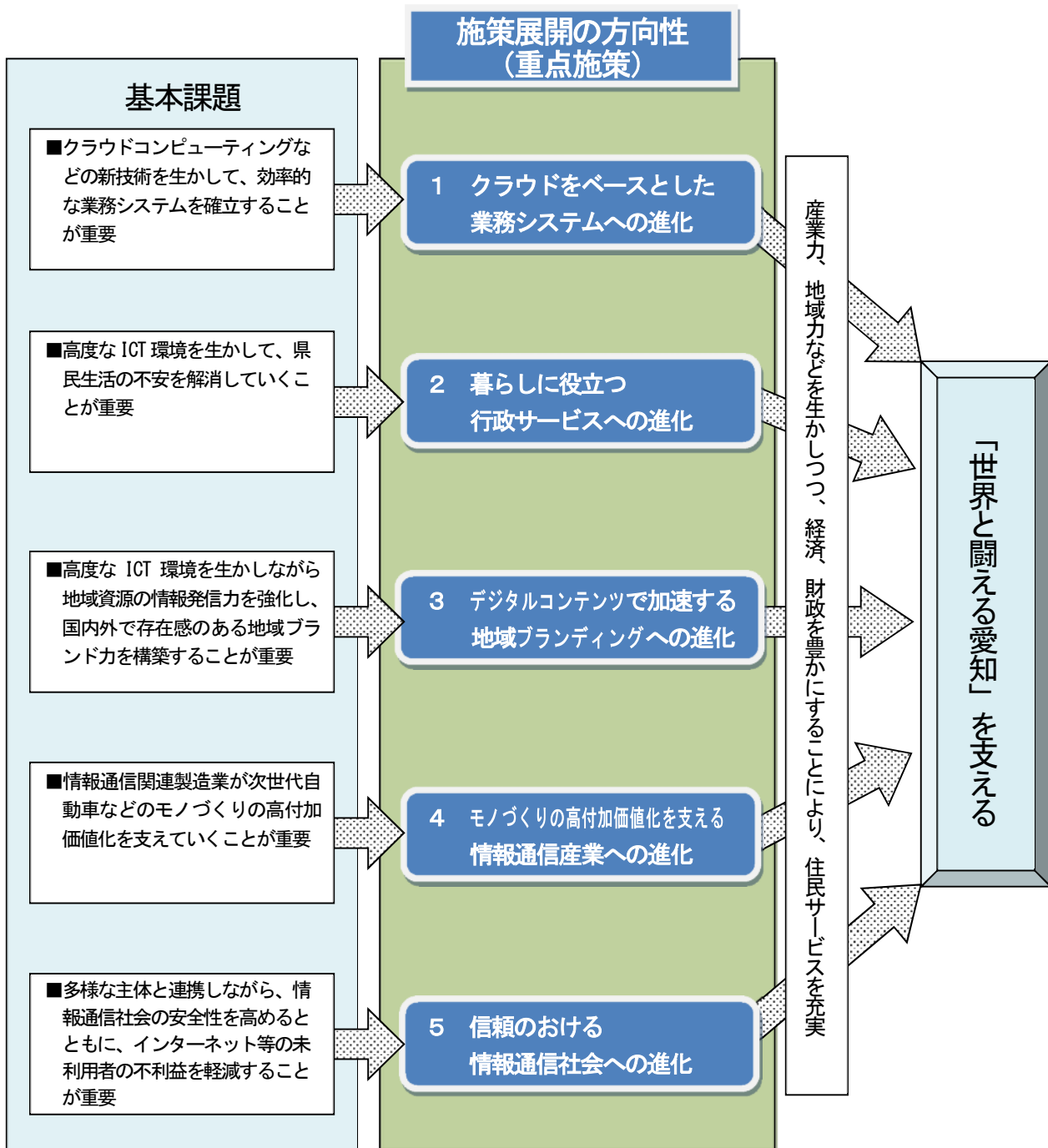
1	年次レポートの趣旨	1
2	25年度の主な実施状況	2
3	施策ごとの進行状況	15
4	まとめ	21
	(参考) 取組を紹介したWebサイトの一覧	23

# 1 年次レポートの趣旨

愛知県では平成23年12月に策定した「あいちICTアクションプラン2015」において、地域や県庁の特性と昨今の外部環境の変化を分析した基本課題を踏まえ、情報通信技術（ICT）の分野における5つの施策展開の方向性（重点施策）を下図のとおり設定しました。

年次レポートでは、計画の進行管理のために、各重点施策に対する主な取組を報告するとともに、今後の計画や計画を進める上での課題を確認していきます。

本紙は2013年度版に続く3回目の年次レポートになります。



## 2 25年度の主な実施状況

「あいちICTアクションプラン2015」で掲げた重点施策について、25年度（2013年度）に実施した主な取組の内容を報告します。

### 重点施策1 クラウドをベースとした業務システムへの進化

#### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
1-1 自治体クラウドの推進	・自治体間の業務の標準化 ・災害時に強い業務システムの構築 等
1-2 業務システム基盤の再構築 <b>25年度ポイント</b>	・高コストな汎用コンピュータからの移行（汎用コンピュータの廃止） ・サーバ統合による運用経費の低減 等
1-3 業務システムの開発・改修	・新公会計制度の導入などによるシステムの開発・改修の計画的な実施 等
1-4 携帯情報端末を活用した業務改善	・新たな携帯情報端末の活用の検討
1-5 業務システム調達プロセスの改善	・業務システムの開発・改修にあたって、透明性、公平性、競争性を確保した調達の実施
1-6 情報通信基盤の強化	・ネットワークに接続されていない単体パソコンのネットワーク化 ・増大する情報量に対する情報通信基盤の迅速な見直し

#### 【1-1自治体クラウドの推進】

目標：クラウドコンピューティングにより効率的で災害に強い業務システムに転換します。

##### ○ クラウド移行に向けた取組

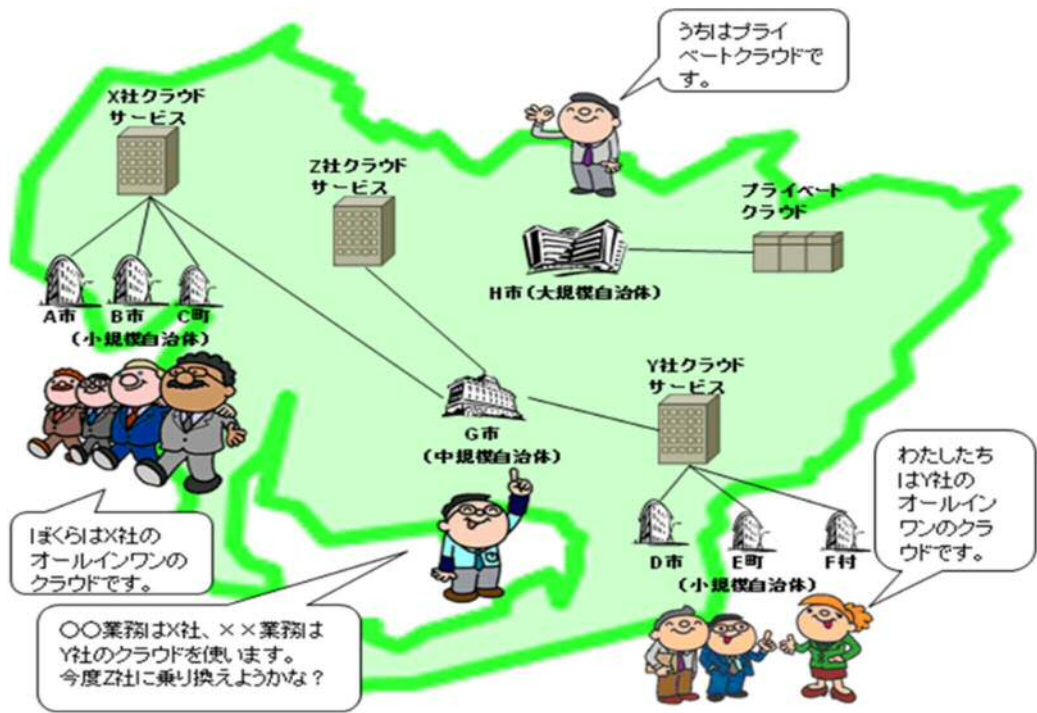
25年度は、前年度に引き続き市町村によるグループ活動として、共同評価グループではクラウド・サービスの選定作業、調整グループではクラウドへの移行に向けた調整作業などに対し、専門的知識を有する事業者の支援を受けて活動を行いました。

また、25年度には新たに内部事務系システムについても、クラウド移行に向けたグループを結成し、活動を開始しました。

併せて、前年度に作成したグループ活動を円滑に行うために必要な文書（RFI（情報提供依頼書）、RFP（提案依頼書）等）の雛形について、見直しや追加を行いました。

**25年度ポイント** : 25年度に実施した取組のうち、注目施策を示しています。

**完了** : 25年度に完了した施策を示しています。



【1-2業務システム基盤の再構築】

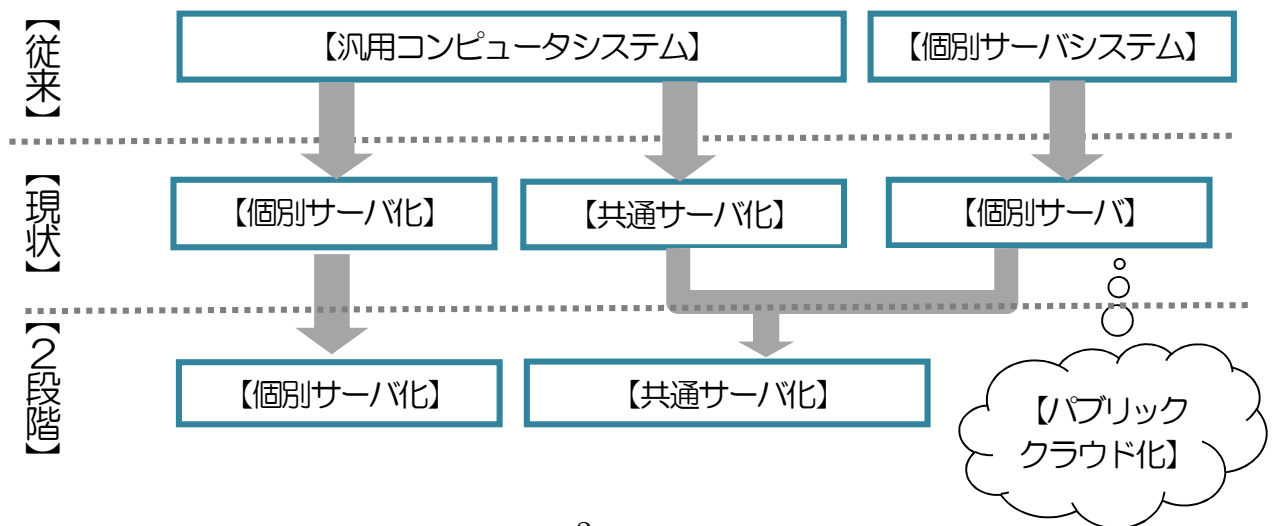
目標：汎用コンピュータからサーバシステムへの移行により、経費削減や安定的運用を図ります。

○ 汎用コンピュータの廃止 **完了** **25年度ポイント**

IT 経費の低減、情報システムの安定的な稼働及び効率化といった目的のため、汎用コンピュータ上で稼働していた、人事、税、県営住宅関連の情報システムを個別サーバへ、それ以外のシステムを共通サーバ（庁内クラウド）へ移行を進めてきました。

25年度は、それぞれ統合テスト、データ移行を行い、個別サーバは25年10月から順次稼働し、庁内クラウドは26年4月から本稼働しました。これにより汎用コンピュータを廃止しました。

業務システム基盤の再構築と段階的なシステム統合イメージ（簡略版）



### 【1-3業務システムの開発・改修】

目標：行政を取り巻く環境変化を見据えながら、業務システムの開発・改修を図ります。

#### ○ 業務システムの新公会計制度への対応

25年度は複式簿記・発生主義会計を採り入れた新公会計制度が導入されたことに伴い、財務システム、予算編成支援システム、公有財産管理システム、建設行政情報システム及び建設資産管理システムで新公会計制度に対応したシステムが本格稼動しました。

### 【1-4携帯情報端末を活用した業務改善】

目標：新たな携帯情報端末を業務改善に活かします。

#### ○ 用地補償の概要説明への動画利用

用地補償事務を円滑に進めることを目的として、用地補償の概要を地権者に説明する動画を制作し、事業説明会、用地交渉現場等において活用する実証実験を行いました。

その結果、用地補償の内容について非常にわかりやすくなり、地権者の方の理解が進み、具体的な質問がなされるなど一定の成果が認められました。今後は、携帯情報端末を使った検証を行います。

### 【1-5業務システム調達プロセスの改善】

目標：業務システムの調達プロセスを統制し、経費削減を図ります。

#### ○ 情報システム調達の適正化

情報システム適正化事業の支援対象となる8のシステムを選定し、ITの専門的知識を持つコンサルタントから支援を受け、「①調達予定価格適正化」と「②調達仕様書作成」を行いました。

①の調達予定価格適正化支援作業により、各部局の当初想定価格より16.3%抑制することができました。また、②の調達仕様書作成支援作業で、入札における透明性、公平性、競争性を確保しました。

この他、各部局の業務システム担当職員に対し、情報システム調達に関する知識の底上げを目的として、「情報システム適正調達研修」を25年6月に実施し、37名が参加しました。

## 重点施策2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップページの掲載項目を、利用しやすい項目に改善</li> <li>・複数の広報媒体の効果的な連携 等</li> </ul>
2-2 ネットコンテンツの充実 <b>25年度ポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民向けコンテンツの周知や使いやすさ向上</li> <li>・新たな情報提供、情報鮮度の維持への取組 等</li> </ul>
2-3 安全情報伝達体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難勧告、被災者の安否情報などの迅速・確実な伝達</li> <li>・防犯と安全に関する情報についても迅速・確実な対応の必要性 等</li> </ul>
2-4 ICTを生かした教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが情報を適切かつ効果的に活用できる能力の向上</li> <li>・分かりやすい授業を実現するための方法のひとつとしてICTの効果的な活用</li> </ul>
2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・在宅ケアの推進体制の確立や、画像伝送、生体情報伝送など遠隔医療システムの普及・電子カルテの導入 等</li> </ul>

### 【2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」(<http://www.pref.aichi.jp/>)のリニューアル】

目標：「ネットあいち」をリニューアルし、利用者の拡大を図ります。

#### ○ イベント情報等を発信するワクワクあいちの充実

(<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/>)

- (1) 知事の名刺で使用されている愛知の農林水産物・特産品のPR用画像をダウンロードできるように掲載していますが、25年度はその画像を一新するとともに、B-1 グランプリ in 豊川のPR名刺を追加しました。
- (2) これまでのTwitter、Facebookに加え、LINE@を開設しました。





## 【2-2 ネットコンテンツの充実】

目標：ネットコンテンツを充実させ、県民の暮らしを便利にします。

### ○ スポーツ大会情報発信サイトの作成・運用 **25年度ポイント**

本県のスポーツ大会情報や、スポーツ施設、スポーツ合宿地等を紹介する Web サイト「あいスポ」を作成しました。また、QR コードを雑誌等に掲載するとともに、関連スポーツ大会である「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」などの Web サイトにもバナーを掲載し、このサイトの周知を図りました。



### ○ 安全に暮らせるまちづくりの動画制作・配信

安全に暮らせるまちづくりを目指す取組の一環として、県民の防犯・交通安全意識の高揚を図るため、動画配信による啓発活動を行いました。

- ・住宅対象侵入盗対策を3本、交通事故防止対策を4本の計7本の動画を制作し、You Tube で配信しました。

### ○ 愛知県オープンデータカタログの設置

本県が保有するデータを公開する環境を整備し、公開を進めていくことにより、行政の透明性・信頼性の向上を図るとともに、公開されたデータを利活用した新たなビジネスの創出、社会・経済の発展に寄与することを目指しています。

25年度は、新たに、「愛知県オープンデータカタログ」を試行版サイトとして開設し、75件のデータを公開しました。



## 【2-5地域に応じた医療福祉体制の構築】

目標：ICT を活用し、安心できる医療福祉体制をつくります。

- 地域包括ケアシステム構築におけるICTシステムの導入  
「あいちの地域包括ケアを考える懇談会」から「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」がとりまとめられ県へ提出されましたが、その中で医療と介護で患者情報等を共有するためにICTの利活用が望まれる旨、提言されました。  
なお、26年度から提言を踏まえた地域包括ケアモデル事業を県内9か所で実施し、ICTシステムの導入を目指します。
- 県立の病院における電子カルテの導入  
心身障害者コロニーでは、30年度の療育医療総合センター（仮称）の開所にあわせて、電子カルテシステムなど医療情報システムの導入を目指します。25年度には医療情報システム導入準備委員会を設置するとともに、ワーキンググループにて意見交換や業務運用フロー・伝票類等の確認整理を行いました。
- 第二青い鳥学園への電子カルテの導入  
第二青い鳥学園では、27年度開所予定の移転改築整備にあわせて、電子カルテシステムを導入します。25年度は、基本計画・仕様書作成を行いました。

## 重点施策3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
3-1「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進 <b>25年度ポイント</b>	・日本、さらには世界の中で存在感のある地域ブランドを構築していくために、本県固有の観光資源・文化芸術・特産品などの情報発信が必要
3-2 ソーシャルメディアの活用	・地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信を一体的に行うことが必要 ・ソーシャルメディアの特性に配慮しながら、ソーシャルメディアの持つ力を情報発信や地域づくりに生かしていくことが必要
3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実	・スマートフォン向け観光アプリやAR技術を活用した情報発信の拡大 ・国内に限らず、東アジアなど海外に対する情報発信の強化
3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実	・文化芸術情報の積極的な情報発信
3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実	・他の特産品との差別化を図るため、特産品の良さ（価値）を消費者に分かりやすく伝えることが必要
3-6 企業等との連携による情報発信力の強化	・企業やNPOとの連携はまだ限定的で、拡大が必要

### 【3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進】

目標：観光・文化芸術・特産品の動画配信を促進し、地域振興や地域ブランド力の強化につなげます。

#### ○ PLAY! AICHI 地域特派員 **25年度ポイント**

海部地域を盛り上げるため、地元アイドルユニット「海部地域盛り上げ隊（AMT）」を結成し、PLAY! AICHI 地域特派員に任命しました。

海部地域7市町村を紹介するPR動画「水と生きる海部地域」のレポーターとして、動画の制作・配信を通して、地域活性化の取組を行いました。



## ○ PLAY! AICHI 特派員

“住みます芸人” サムタイムズ、大須の地元アイドルユニット「OS☆U」の方々には、情報発信力を生かして県内で行われたイベントなどに出演していただき、地域活性化の取組を行いました。

### (1) サムタイムズの活動状況

「PLAY! AICHI 特派員突撃レポート」として、

- ・わくわく体験2013リニモツアーズ リニモ車両基地体験講座
  - ・大ぽぷかる展 ～愛知ポップカルチャーフェスタ in モリコロパーク～
  - ・B-1グランプリ in 豊川、魅力発信！愛知・東三河フェア
- などをレポートし動画配信しました。



### (2) OS☆Uの活動状況

- ・「三河の山里の魅力を再発見」をレポートし動画配信しました。

## 【3-2 ソーシャルメディアの活用】

目標：ソーシャルメディアを活用し、観光・文化芸術・特産品の魅力をきめ細かく伝えます。

## ○ ソーシャルメディア利用ガイドラインの改定

職員がソーシャルメディアを利用する際の基本的な考え方や留意すべき事項等をまとめ、有効に活用できることを目的として「愛知県ソーシャルメディア利用ガイドライン」を策定しており、新たに、アカウントの運用方針を明示することなど、25年10月に一部の改定を行いました。

## ○ フェイスブック、ツイッター「あいスポ」

あいちのスポーツ大会情報を発信するフェイスブック、ツイッター「あいスポ」を設けました。スポーツ大会情報に併せて地域情報を全国に発信することで、あいちの観光PRも図りました。

また、車いすマラソンの魅力発信のため作成した『あいスポ 名古屋ウイメンズホイールチェアマラソンPR 動画』などを配信しました。



○ 三河の山里からの情報発信

アンテナショップ「どだくさん」及び「三河の山里ふるさとキッチン」について、フェイスブックを活用した情報発信を実施しました。

【3-3訴求力の高い観光コンテンツの充実】

目標：観光情報の訴求力を高め、国内外からの誘客を増やします。

○ タイ語でのウェブサイト開設

タイにおける本県の知名度を向上させるとともに、あいちの魅力を発信し、旅行者やビジネス客等の来訪者の増加を図るためタイ語でのウェブサイト、フェイスブックページを開設するとともに、動画 13 本を制作し、25年10月に配信しました。

Web ページは約23,600名（3月末累計）の方に閲覧をいただき、フェイスブックには約2,800名（3月末累計）の方に「いいね！」をいただきました。

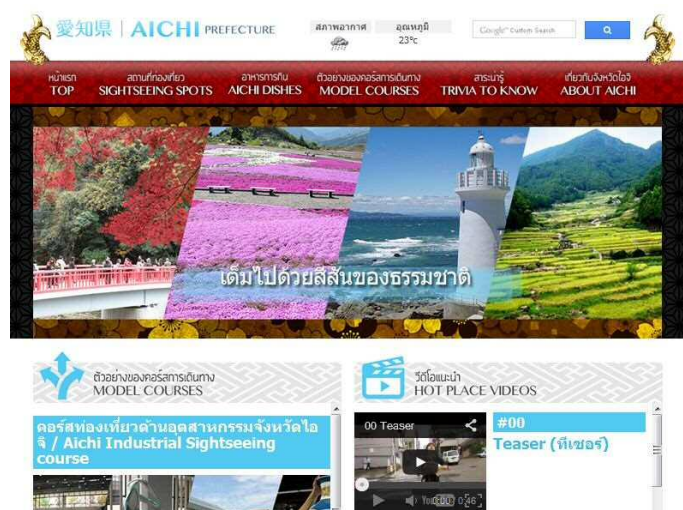
・タイ語でのウェブサイト

URL : <http://www.pref.aichi.jp/kokusai/thai/>

・フェイスブックでの情報発信

URL : <https://www.facebook.com/welcometoaichi>

・ネット動画での情報発信



【3-5魅力が際立つ特産品コンテンツの充実】

目標：特産品の魅力を分かりやすく紹介し、人気を高めます。

○ 「消費者と生産者の思いを伝える農林水産業」の情報発信

「消費者と生産者の思いを伝える農林水産業」の取組推進に向けて、有識者の助言等により品質や活動に特徴のある農林水産物や農林水産業者の取組の魅力を磨き上げる「食と緑あいちブランド創出事業」の取組事例をインターネットで発信しました。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000063808.html>)

## 重点施策 4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
4-1 研究開発の促進	・既存産業の高度化・新たな産業の創出を図り、モノづくり拠点として持続的に発展するために、情報通信技術、高度部材、加工技術など基盤技術をさらに高めていくことが必要
4-2 スマートモビリティ社会の創造	・ITS世界会議や県内における実証実験の成果などを生かしたITSの普及・定着
4-3 情報通信産業等の誘致・育成	・情報通信技術をモノづくり産業に繋げることができる人材を地域全体で計画的に育成することや情報通信産業等の企業誘致が必要
4-4 デジタルコンテンツ産業の育成 25年度ポイント	・地元企業と協力し、スマートフォン用コンテンツなどの作成により開発ノウハウの蓄積を促進

#### 【4-1 研究開発の促進】

目標：情報通信技術を活用した研究開発を促進し、モノづくり産業の高付加価値化を支えます。

- 農業関連の技術開発  
農商工連携の手法を通じ、情報通信技術を活かした農業を振興していくため、植物工場関連の技術開発として、25年度は、短期収量予測ソフトを作成し、実際の栽培場面において予測精度の検討を行いました。今後は、精度向上にむけたデータの蓄積及び実用性の検討を進めていきます。

#### 【4-2 スマートモビリティ社会の創造】

目標：ITSなどの新技術を活用しながら、世界最先端のスマートモビリティ社会をつくります。

- 愛知県 ITS 推進協議会の活動  
愛知県 ITS 推進協議会の活動の中で、安全・安心に関連した取組を実施しました。
  - ・ITS 安全・安心グループを設置し、交通安全のためのITS 活用方策を検討
  - ・あいち ITS ワールド 2013 開催
  - ・あいち ITS 大学セミナー開催（22回）
- ITS 世界会議への参加  
ITS 世界会議東京 2013 において、「ITS 先進県あいち」をアピールするため、ブース出展を行うとともに、ポストコングレスツアーを実施しました。
- 自動車安全技術プロジェクトチーム（PT）の設置  
交通事故の抑止を目指し、産学行政で構成する「自動車安全技術プロジェクトチーム(PT)」を25年6月に設置し、自動車安全技術に係る研究開発等の現状と課題に関する調査、研究開発・実証実験及びその支援、普及・啓発の取組を推進しています。  
25年度は、3回の会議を開催し、プローブ情報活用WGを設置しました。



#### 【4-3情報通信産業等の誘致・育成】

目標：情報通信産業を含む次世代成長産業の誘致・育成を図ります。

##### ○ ビジネスマッチングの開催

25年9月20日及び26年3月7日に有望ビジネスマッチング交流会「ビジネスプラン発表会」を愛知県産業労働センター（ウインクあいち）で開催しました。

交流会では、情報通信分野を含む起業家や新分野進出企業等計18社がビジネスプランを発表し、これらの企業に対する融資、投資、生産、販売等の事業提携を希望するビジネスパートナーと出会うきっかけとなりました。

##### ○ 情報通信産業等の立地

産業立地サポートステーションにおいて、情報通信分野を含む次世代成長産業などの情報収集を行うとともに、21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金、産業立地促進税制を活用しながら、立地を図っています。

25年度は、以下の情報通信分野に該当する投資を補助対象事業として採択しました。

補助対象企業：エスツーアイ(株)

投資概要：製造業向け生産管理ソフトウェア等の開発事業場の建設

補助金名：新あいち創造産業立地補助金

#### 【4-4デジタルコンテンツ産業の育成】

目標：デジタルコンテンツ産業に着目し、積極的な取組を開始します。

##### ○ ARコンテンツ「ゆるキャラの森」

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内に県内市町村等の「ゆるキャラ」たちのARコンテンツを配置することにより、スマートフォンアプリを通して、園内施設を案内したり、記念撮影を行うことができる取組を実施しました。

(<http://www.yurumori-aichi.com/>)



##### 25年度ポイント

The screenshot shows the website for 'Yuru-chara no Mori'. At the top, there's a navigation bar with icons for home, app introduction, character introduction, and more. The main content area features a large, colorful illustration of various 'yuru-chara' characters. Below this, there's a section titled 'ゆるキャラの森 について?' (About Yuru-chara no Mori?) which describes the project's goal to promote local characters and tourism through AR. It mentions that users can see AR content like QR codes and music videos. There's also a section for 'AR(拡張現実)ってなに?' (What is AR?) explaining that it's used for AR content on smartphones. On the right side, there are smaller promotional boxes for 'ゆるキャラ動画がいっぱい!' (Lots of yuru-chara videos!) with a YouTube icon, '無料! iPhoneアプリ 神経衰弱バトルゲーム!' (Free! iPhone app: Memory Battle Game!), and '愛・地球博記念公園 モリコロパーク' (Aichi Expo Memorial Park Mori Koro Park).



## 重点施策5 信頼のおける情報通信社会への進化

### アクションプランの施策項目

項目	解決すべき課題及び施策の展開
5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット空間におけるマナーの向上やメディアリテラシーの強化</li> <li>・インターネット利用者の情報セキュリティに対する意識向上</li> <li>・不当請求・架空請求などの被害防止のための啓発の強化</li> </ul>
5-2 情報セキュリティの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が保有する個人情報など重要な情報資産、情報セキュリティの徹底が必要</li> </ul>
5-3 アクセシビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット未利用者の不利益拡大の防止</li> <li>・日本語がわからない外国人にも配慮したWebサイト作りが必要</li> </ul>
5-4 地理的情報格差の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河山間地域を中心とした携帯電話の不感地帯解消</li> </ul>

#### 【5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保】

目標：ネット犯罪の防止や情報モラルの向上を図り、安心できる情報社会にします。

○ サイバー犯罪防止講話の開催

県内の小・中学校や高等学校、県民や企業などに対し、関係機関と連携して「サイバー犯罪防止講話」を開催し、インターネット上の掲示板などに誹謗中傷となる書き込みをしないといった情報モラルの徹底と情報セキュリティ向上のため広報啓発活動を実施しています。25年度は、サイバー犯罪防止講話を1,768回実施しました。

県警Webページ ～サイバー犯罪防止講話のご紹介～

(<http://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/boushi.html>)

○ 安心ネットインストラクターによる普及・啓発活動

ネット社会の危険な現状を、安心ネットインストラクターが講師となって保護者や地域の人々に対して普及・啓発し、インターネット上のいじめや犯罪被害を未然に防止していきます。25年度は、普及・啓発活動を26回実施しました。

#### 【5-2 情報セキュリティの徹底】

目標：情報セキュリティの徹底を図り、県庁が保有する重要情報を守ります。

○ 標的型攻撃メール全庁セキュリティ訓練

職務に関係ある案件をかたった標的型攻撃メールによる情報流出を防止するため、新たに、セキュリティ訓練を行いました。

25年度は、全所属を対象に、抽出した一部の職員あてに偽メールを送信し、適切な措置を行うかを確認する訓練を3回実施しました。

### 【5-3 アクセシビリティの確保】

目標：だれもがICTの恩恵を受けられる情報社会にします。

- 日本語トップページの自動翻訳  
ネットあいちを日本語がわからない外国人にも利用可能なWebサイトにするため、日本語トップページの自動翻訳(英語)機能を追加しました。

### 【5-4 地理的情報格差の解消】

目標：三河山間地域において、携帯電話を使いやすくします。

- 市町村や地元住民の意向を踏まえ、国や通信事業者等への要望・意見反映する取組を行いました。25年度は、岡崎市、豊田市、設楽町、豊根村、西尾市(佐久島)、瀬戸市で現況調査を行いました。

### 3 施策ごとの進行状況

#### 重点施策1 クラウドをベースとした業務システムへの進化

(評価指標) 自治体クラウドを構築している市町村数

(目標) 43市町村(27年度末時点)

(25年度末の状況)

- ・クラウド導入のため市町村をグループ化(基幹系・内部事務系)
- ・17市町がクラウド化実施(25年度末)

(施策の趣旨及び課題)

本施策は、クラウドコンピューティングなどの新技術を生かすことによって、効率的で災害に強い業務システムを確立するために展開しています。

市町村のシステムのクラウド化については、既存のシステムからの円滑な移行や業務の負担を軽減するために、県がアドバイザーとなり、市町村同士での共同での検討や先行団体の実施状況の情報を共有していくことが重要です。

県庁内の業務システムについては、庁内クラウドの構築を進めるとともに、各システムの見直しを行うことで、システムの適正化及びIT経費の低減化を進めていくことが必要となっています。

(策定時の主な計画)

##### 1-1 自治体クラウドの推進

- ・先行自治体のクラウド導入(24年度～)
- ・クラウド導入のための市町村グループ活動を支援(25年度)
- ・各自治体の更新時期に合わせて順次導入(26年度～)

##### 1-2 業務システム基盤の再構築

- ・大規模システムの個別サーバ化に向けてのシステム及びデータ移行、稼働準備(25年度)
- ・個別サーバを共通サーバ化するための移行調整、仕様等検討(24～25年度)
- ・共通サーバへの移行開始(26年度～)

##### 1-3 業務システムの開発・改修

- ・税務システムの試験・稼働開始(25年度)
- ・予算編成システムの二次改修及び稼働、財務システム、公有財産管理システム、建設行政情報システム及び建設資産管理システムの稼働(25年度～)
- ・職員採用試験システムの運用(25年度～)
- ・物品調達におけるオープンカウンタの対象範囲の拡大(23年度～)

##### 1-4 携帯情報端末を活用した業務改善

- ・知の拠点あいちの施設案内用の携帯情報端末の運用(24年度～)
- ・事業説明会・用地交渉現場における地権者説明に動画活用(24年度～)
- ・タブレット端末の行政事務への利用検証(25年度～)

##### 1-5 業務システム調達プロセスの改善

- ・全庁システム調査(毎年度)
- ・適正化事業としてシステム開発・改修について支援(毎年度)

##### 1-6 情報通信基盤の強化

- ・地方機関の回線変更(23年度～)
- ・光回線への切替が可能となった県立学校について光回線化(23年度～)
- ・教員・職員への一人一台パソコンの全員配備に向けた取組(23年度～)

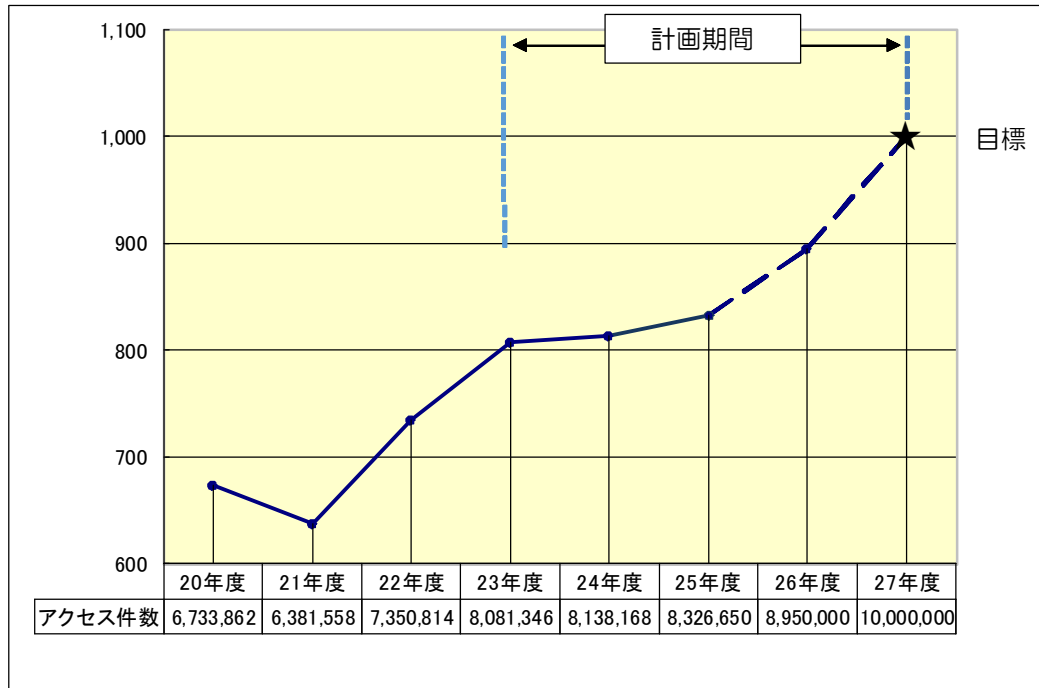
## 重点施策2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化

(評価指標) 「ネットあいち」(トップページ) のアクセス件数

(目 標) 1,000万件(27年度の件数)

(25年度末の状況)

- ・約833万件(25年度計、全国4位) 参考：24年度＝全国4位



20年度からの「ネットあいち」(トップページ) のアクセス件数推移と目標年度の件数

### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、高度なICT環境を生かして県民生活の不安を解消していくために展開しています。県が発信する情報の総合的な窓口である「ネットあいち」を、より親しみやすいものとしていくとともに、県民が必要とするコンテンツを更に充実する必要があります。

「ネットあいち」(トップページ) の25年度の年間アクセス件数が前年度の微増に留まっており、目標を達成するためには一層魅力のあるWebサイト作りが必要です。

また、広報活動の手段として動画サイト、デジタルサイネージ及びインターネットラジオなど新たなICT技術を活用し、利用する視聴対象の層に合わせてより効果的にPRしていくことが重要です。

(策定時の主な計画)

2-1 楽しさを視点に置いた「ネットあいち」のリニューアル

- ・LOVE あいちサポーターズからの応援メッセージを追加（23～25年度）
- ・PLAY! AICHI 特派員による魅力発信及び特派員の拡充（適宜）
- ・「ワクワクあいち」のコンテンツの拡充（24年度～）
- ・クロスメディア・メディアミックスなど発信する内容に応じた効果的な広報媒体・形式の活用を検討（24年度～）
- ・新しいソーシャルメディアによる情報発信の検討（25年度～）

2-2 ネットコンテンツの充実

- ・「ネットあいち」に県民の方の関心の高い情報の追加（25年度～）
- ・愛知県図書館電算システムの更新(25年度)、連携するための市町村図書館への説明会実施(25年度～)
- ・あいちの空港を紹介する動画及びQRコード等を利用し、空港の利便性の高さをより広く発信(25年度～)

2-3 安全情報伝達体制の強化

- ・ツイッターを用いた防災情報など周知の促進（随時）
- ・AEDマップへの登録の動きかけ（随時）、同マップの表示・入力項目の改修（25年度）
- ・地震や洪水情報など防災メールサービスの普及拡大（25年度～）

2-4 ICT を生かした教育の充実

- ・校務支援システムの運用（25年度～）
- ・「あいちの学校連携ネット」の運用・PR（24年度～）
- ・県立高校での電子黒板・プロジェクタの活用（24年度～）

2-5 地域に応じた医療福祉体制の構築

- ・へき地医療支援システムに係る経費の補助（継続）
- ・がんセンター中央病院における電子カルテの運用及び他の県立病院での導入検討（25年度）

### 重点施策3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化

(評価指標) 「感☆動! あいち」の動画へのアクセス件数

(目 標) 50万件(27年度までの累計)

(25年度末の状況)

- ・約31万件(「感☆動! あいち」開設後の25年度末までの累計)
- ・アクセス件数の多い動画(「デート de 知多あるき」、「あいちの離島PR大作戦」、「愛知の“こだわり特産品”CM及びお笑い特産品動画」)

#### 愛知の“こだわり特産品”CM

愛知県、よしもとクリエイティブ・エージェンシー及び大同大  
学が連携して作成した「愛知のこだわり特産品CM」です。



©愛知県×よしもとクリエイティブ・エージェンシー×大同大学による特



#### 若手芸人による お笑い特産品動画

よしもとの若手芸人による「愛知の“こだわり特産品”CMプロ  
ジェクト」に応募のあった特産品をネタにしたお笑い特産  
品動画です。



(施策の趣旨及び課題)

本施策は、高度な ICT 環境を生かしながら地域資源の情報発信力を強化し、国内外で存在感ある地域ブランドを構築していくために展開しています。

近年、行政の分野においてコンテンツ作成により雇用対策や地域振興を図る様々な試みが行われていますが、今後、継続して地域の情報を魅力ある形で発信していくために、情報発信してもらえる協力者と連携するなど検討していく必要があります。

また、地域イベントと連動して ICT の特性を生かしたコンテンツを作成し、より効果的な情報発信を行っていく必要があります。

(策定時の主な計画)

3-1 「PLAY! AICHI プロジェクト」の推進

- ・PLAY! AICHI 特派員と協力し、新しい ICT 技術等も活用しながら、愛知県の魅力を発信していく (24 年度～)

3-2 ソーシャルメディアの活用

- ・ブログサイト「三河の山里だより」を県交流居住センター Web ページで発信 (24 年度～)
- ・「あいちの山里で暮らそう 80日間チャレンジ」(24 年度) の継承事業として、三河山間市町村が委嘱する「地域おこし協力隊員」を「あいちの山里で暮らそうチャレンジ隊」に認定し、フェイスブック等を活用した情報発信を実施 (26 年度～)
- ・ソーシャルメディアの活用指針の運用 (25 年度～)

3-3 訴求力の高い観光コンテンツの充実

- ・新技術を活用したコンテンツの運用を踏まえたノウハウの情報提供 (24 年度～)
- ・県内で開催されるイベントに AR 技術などを活用 (25 年度)

3-4 親しみやすい文化芸術コンテンツの充実

- ・愛知県陶磁資料館 (25 年 6 月から愛知県陶磁美術館に名称変更)、所蔵品・展示会情報等の検索システムの開発及び稼働 (25 年度)
- ・愛知県図書館電算システムの更新 (25 年度)、愛知県図書館 Web サイトリニューアル (25 年度)
- ・文化財ナビ新規指定・登録データの追加 (随時)

3-5 魅力が際立つ特産品コンテンツの充実

- ・「消費者と生産者の思いを伝える農林水産業」の取組を推進するとともに、モデル事例をインターネットで発信 (25 年度～)
- ・食や農林水産業に関する Web コンテンツの効果的な情報発信 (24 年度～)

3-6 企業等との連携による情報発信力の強化

- ・中日本高速道路株式会社との包括協定に基づき三河山間地域の情報を発信 (24 年度～)



## 重点施策4 モノづくりの高付加価値化を支える情報通信産業への進化

(評価指標) あいちベンチャーハウス入居企業の成長率(売上高前年度比増加率 10%以上)  
(目 標) 目標達成企業が50%(毎年度の割合)  
(25年度末の状況)

(対象企業中で売上高前年度比増加率 10%以上の企業) 11社  
=  $\frac{11}{20}$  (55.0%)  
(あいちベンチャーハウスで2期以上決算を組めた対象企業) 20社中

### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、情報通信関連製造業が次世代自動車など本県の強みであるモノづくりの高付加価値化を支えていくために展開しています。

情報通信技術に関連する研究開発などを行う優れた人材・企業の育成や誘致などを促進し、モノづくりを持続的に発展させていくことが必要です。

### (策定時の主な計画)

#### 4-1 研究開発の促進

- ・「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトの実施(試作品開発、商品化、特許出願等)(継続)
- ・情報通信技術を活用した農業振興など東三河地域で企業サポート事業の実施(25年度～)
- ・施設園芸収量予測ソフト実用性の検討(24年度～)
- ・「あいち地球温暖化防止戦略2020」に基づき、再生可能エネルギーと省エネ化によるゼロカーボンライフへの取組を推進(25年度～)

#### 4-2 スマートモビリティ社会の創造

- ・実証実験受入環境整備、実証実験成果の普及(継続)
- ・あいちITSワールド等によるITSの普及啓発活動の実施(継続)
- ・交通事故情報の発生状況を基に、経路上の事故多発地点の情報提供をするための光ビーコンの更新及び整備を実施(24年度～)
- ・ITS世界会議 東京2013へのブース出展及びポストコングレスツアーの実施(25年度)

#### 4-3 情報通信産業等の誘致・育成

- ・21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金及び産業立地促進税制の運用(24年度～)
- ・新学習指導要領における情報通信関連技術の習得に係る年間指導計画の実施(25年度～)
- ・有望ビジネスマッチング交流会の販路開拓支援(24年度～)

#### 4-4 デジタルコンテンツ産業の育成

- ・AR「あいちの野鳥観察広場」、AR「万博アルバム」(24年度～)
- ・「AR未来科学技術体感ルート」のARコンテンツを、リコモ利用促進イベント(リコモウォーキング等)との連携により紹介し、利用を促進(24年度～25年度)
- ・愛知デジタルコンテンツコンテストの実施及び優秀作品の県庁動画サイトへの掲載(継続)

## 重点施策5 信頼のおける情報通信社会への進化

(評価指標) 情報セキュリティに関する研修の受講人数  
(目標) 前年度実績値を超える人数(毎年度の人数)  
(25年度末の状況)

- ・本庁全課室及び全地方機関に置いた情報化リーダーに対して研修を実施  
387名(25年度実績) 参考:24年度=384名
- ・他に新規採用(375名)、キャリアマネジメント研修(中堅職員対象)(219名)、  
その他職員研修でも研修を実施

### (施策の趣旨及び課題)

本施策は、多様な主体と連携しながら、情報通信社会の安全性を高めるとともに、インターネット等の未利用者の不利益を軽減するために展開しています。

近年、急速に情報化が進んでおり、サイバー犯罪の手口もまた高度化・多様化しています。インターネット利用者やスマートフォンなどの通信機器を狙った攻撃も増えていることから利用上の注意喚起をしていく必要があります。

インターネットを幅広い人々が利用する情報社会においては、誰もが同じ様に情報を取得・発信できることが重要であるため、アクセシビリティの確保やデジタルデバイドの解消が求められます。

### (策定時の主な計画)

#### 5-1 情報社会の安全性・信頼性の確保

- ・愛知県インターネット・サービスプロバイダ防犯連絡協議会総会等の開催(継続)
- ・教育委員会と警察本部が連携したサイバー犯罪防止対策の実施(23年度~)
- ・県内の重要インフラ企業に対し、広報啓発活動を実施(23年度~)
- ・大学生サイバーボランティアによるサイバーパトロールや講話の実施(24年度~)
- ・デジタルコンテンツに係る不当請求等に対して「あいち暮らしっく」、消費生活情報サイトによる啓発及び消費生活相談を実施(23年度~)
- ・「インターネット利用安全・安心講座」の開催(23年度~25年度)
- ・「安心ネットインストラクター養成講座」の開催(23年度~24年度)
- ・愛知県教育委員会道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラル教育実施及び関連情報の掲載(23年度~)

#### 5-2 情報セキュリティの徹底

- ・セキュリティ監査及び指摘事項の改善(継続)
- ・安心ネットインストラクターによる情報モラルの啓発活動(23年度~25年度)
- ・職務の級ごとの職員向けの情報セキュリティに関する研修及び職場ごとの情報化リーダーに対する情報セキュリティ研修の実施(継続)

#### 5-3 アクセシビリティの確保

- ・県の公式Webサイトについては、基本的にWeb作成支援システム(CMS)により作成する(継続)
- ・三河山間地域において、情報通信基盤を活用し集落等に対する情報発信などのあり方を市町村とともに検討(継続)
- ・ネットあいちの日本語Webページの自動翻訳機能(英語)の追加検討(25年度)

#### 5-4 地理的情報格差の解消

- ・三河山間地域における移動通信の整備は、地元自治体の要望に併せて対応(継続)
- ・離島における通信環境について、通信事業者及び地元自治体に聞き取り調査を実施(継続)

## 4 まとめ

第2章は25年度に実施した主な取組について報告し、第3章は課題の確認や施策の進捗状況について記載しました。本章では25年度末時点でのあいちICTアクションプラン2015全体の総括を行います。

また、最近のICT環境を取り巻く大きな変化として、アクションプランにも記載されている「社会保障・税番号制度」について25年5月24日に国会で法律が成立したことから本章で触れていきます。

### (1) 総括

アクションプランの策定以降、取組の成果として、動画を始めとするネットコンテンツの拡充やソーシャルメディアが情報発信ツールとして活用され始めてきていることが挙げられ、近年の新しい動きと言えます。

アクションプランでは、5つの重点施策の下、144項目の施策展開の方向性を設定しています。総括する上で、それぞれの項目ごとに進捗状況の評価とコメントを下の表にまとめました。

※評価は、「順」＝順調に進行している、「遅」＝予定より遅延又は取組が不十分である、「未」＝未着手の項目数を表します。

重点施策	評価		コメント
1 クラウドをベースとした業務システムへの進化	順	22	クラウド化や業務システムの開発・改修等は計画通りであり、施策全体として順調に進んでいます。
	遅	0	-
	未	3	①共通サーバシステム第二段階、②業務システムのパブリッククラウド化、③共通番号制度への対応 →26年度以降に実施する項目であり、今後、計画的に実施します。
2 暮らしに役立つ行政サービスへの進化	順	38	本県の地域情報を発信するWebサイトやコンテンツの充実を図りました。また、安全情報・教育・地域医療にそれぞれICTを活用した取組が開始されました。
	遅	1	県公式Webサイト「ネットあいち」リニューアルによる利用者の増 →スマートフォン表示に対応するため、25年度にトップページの対応を行いました。今後は、下層の各Webページについても、スマートフォン対応のコンテンツ作成システムの導入の検討を行います。
	未	1	観光地などの写真を、通信機能付きフォトフレーム用に配信するなど「面白さ」や「楽しさ」に視点を置いたコンテンツづくり →今後、宣伝効果などの検討を行い、コンテンツを充実させていきます。

3 デジタルコンテンツで加速する地域ブランディングへの進化	順	36	各種ソーシャルメディアやARなど新しい技術を利用した情報発信を行っています。 今後も引き続きICT技術を生かして地域の魅力を高める取組を充実させていきます。
	遅	0	-
	未	0	-
4 モノづくりの高付加価値を支える情報通信産業への進化	順	25	ITSなどの研究や企業に対する支援を行いました。 今後も引き続き、情報通信産業の振興に力を入れていきます。
	遅	0	-
	未	0	-
5 信頼のおける情報通信社会への進化	順	18	県民の方が安全に暮らせるような情報発信やネット犯罪などを防止する取組を行っています。25年7月に改正愛知県青少年保護育成条例を施行し、青少年のフィルタリング利用の促進を図るなど、社会環境の変化に対応した取組を進めています。
	遅	0	-
	未	0	-
合 計			順調 139項目、遅延 1項目、未着手4項目

## (2) 26年度以降の展開

アクションプラン2015で策定した計画は、現時点で概ね順調に進行しておりますが、未着手となっている残りの項目についても、目標年次である2015年度（27年度）に向けて、計画どおりに取組を進めていきます。

また、社会環境の変化やICTを巡る急速な技術進歩などに適切に対応していく必要があり、2020年度を目標年次とする次期アクションプランの策定に向けた検討をしていく予定です。

特に、「社会保障・税番号制度」については、個人番号や法人番号を割当て、「行政運営の効率化及び行政分野におけるより公正な給付と負担の確保」をし、かつ、「国民が、手続の簡素化による負担の軽減、本人確認の簡易な手段その他の利便性の向上を得られるよう」にすることを目的に番号制度関連4法が25年5月24日に成立し導入されることになりました。

今後、27年10月から個人番号を付番し、28年1月から個人番号の利用開始、29年7月から地方公共団体を含めた情報連携を行うこととされており、地方公共団体においても制度導入に向けた取組を遅滞なく進めていく必要があります。

具体的には、関連する業務の見直しや既存業務システムの改修、新たな情報システムの構築が必要であり、本県としては、庁内関係部局と緊密に連携して計画的にこうした取組を進めるとともに、県内市町村に対し必要な情報提供や支援をしていきます。

## **(参考) 取組を紹介したWebサイトの一覧**

### **ワクワクあいち**

<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/>

愛知県の産業観光、芸術・文化、特産品など紹介しています。

### **あいスポ**

<http://www.aichi-sports.jp/index.php>

愛知県のスポーツ大会情報や、スポーツ施設、スポーツ合宿地等を紹介しています。

### **PLAY! AICHI 特派員・地域特派員**

<http://www.pref.aichi.jp/joho/wakuwaku/movie/index.html>

愛知の観光スポットや特産品、文化芸術などを動画で紹介しています。

### **タイ語でのWeb サイト**

<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/thai/>

旅行者やビジネス客等の来訪者の増加を図るため、タイ語であいちの魅力を紹介しています。

### **農林水産部 Web サイト**

<http://www.pref.aichi.jp/nourin/>

愛知の食や農林水産業に関する情報を紹介しています。

### **「ゆるキャラの森」**

<http://www.yurumori-aichi.com/>

県内市町村等の「ゆるキャラ」達が活躍するアプリがあります。

### **愛知県警 ～サイバー犯罪防止講話のご紹介～**

<http://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/boushi.html>

県警によるサイバー犯罪防止講話の案内と予約方法について掲載されています。

### **あいち ICT アクションプラン2015 年次レポート (2013年度版)**

<http://www.pref.aichi.jp/0000063743.html>

25年度に策定した年次レポートです。